

岡部中学校 教科名 (社 会)

生徒が主体的に取り組む授業展開の工夫

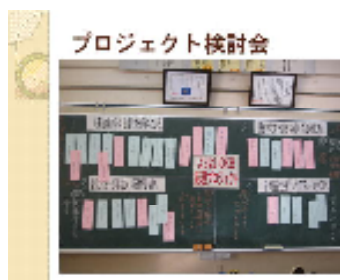
1 ねらい

- 「社会科の基礎・基本の定着をはかり、生徒が主体的に取り組む授業の展開の工夫」を基本方針として、ワークシートの効果的な活用、基礎基本の確認小テスト、資料・教材の選択・工夫、それらを用いてわかる授業をどのように演出するかを社会科部会として研修している。

2 取組概要

(1) 主体的な学習と話し合い活動の充実

自分たちの足で現地調査を行い、岡部地区の危険な場所を地図に表す。その資料をもとにクラスの中で発表会を実施するという授業である。生徒ははじめに熱心に取り組み、整理の仕方、話し合い活動も発表も積極的で意欲的である。さらに、岡部地区の未来を考える授業につながり、各班で「郷土である岡部を今後どのようにしていくべきか。」「魅力ある岡部にするにはどのようなプロジェクトを進めたらよいか。」という活発なプレゼンテーションが行われた。



(2) ICTを活用した授業「世界の気候」

世界の気候の学習が単なる暗記にならないよう、ワークシートを活用し意欲的な学習を進めた。また、作業学習と平行してICTを活用し生徒のワークシートをスクリーンに映し出すことによって生徒の意欲向上を図った。作成したものが映し出されることにより、より分かりやすく作りたいという意欲を見せる生徒も多く見られた。



(3) 予習の習慣化による理解度の向上

授業の事前準備として予習の習慣化をはかっている。毎時授業開始時にチェックし、取組をその場で評価する。基礎基本の定着、向上を図るためには必要な取組であると考えている。

3 成果等

話し合い活動を積極的に導入することで単なる暗記、単なる作業にならず、すべての生徒が主体的に授業に取り組むことができた。また、教え合う、学び合うという姿が多く見られるようになり、受け身の授業から主体的な学びの授業に変わってきた。

